

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成 19年 4月 30

日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 あて

住 所:〒 509-0258 岐阜県可児市若葉台9丁目162

法人(団体)名:NPOなんでもサポートセンター岐阜

印

代表者名: 中島 幸雄

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成18年度(前期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

県南三圏域における団塊世代の地域貢献活動推進事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立前事業助成	立ち上げ時期事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
-----------	------------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	1000千円
実績額	999千円
差し引き額	1千円

4. 事業実施期間

平成18年4月1日 ~ 平成19年 3月31日 ( 1年間 )

## 5. 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況(実施日時、場所〔住所〕、対象者、参加者等) 【敬称略】  
団塊世代塾・可児市開催 **岐阜県可児市虹ヶ丘 名城大学都市情報学部にて**

対象者は原則として昭和22~24年生まれの団塊世代の市民

1. 6月18日(日) 安全・安心なまちづくり~災害などから市民を守るには~  
柄谷 友香(名城大学都市情報学部助教授)
2. 6月25日(日) 「好きなまちで仕事を創る」~コミュニティ起業家とは~  
小出 宗昭(SOHOし@しずおかインキュベーションマネージャー)
3. 7月9日(日) 人生のネクストステージをコーチング  
浅井 真帆(国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ)
4. 7月16日(日) 「野菜づくり」は「地域づくり」~団塊世代が繋ぐ地産地消~  
熊谷 正道(日進野菜塾代表)
5. 7月30日(日) NPO実践座談会「県南三圏域NPO法人と参加者交流」 パネラー  
NPO法人かにはそこんクラブ 吉永亮治・NPO法人スマイルボックス 中井讓城嗣  
NPO法人日ビビッドタウン関が原 桑原栄作 NPO法人ピュア・マインド内山はるみ  
【参加者21名、スタッフ12名(累計参加者78名)】

団塊世代塾・大垣市開催 **岐阜県大垣市北方町 岐阜経済大学キャンパスにて**

1. 8月27日(日) 団塊世代の地域何着陸の心構え  
岩崎 恭典(四日市大学総合政策学部教授)
2. 9月3日(日) 団塊世代の社会貢献とコミュニティビジネス  
中山 治樹(NPO法人ふれあいネット理事長)
3. 9月17日(日) 団塊世代と「2015年の高齢者介護」  
中井 健一(岐阜経済大学経済学部教授)
4. 9月24日(日) 人生のネクストステージをコーチング!  
浅井 真帆(国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ)
5. 10月8日(日) NPO実践座談会「NPO法人と参加者交流」パネラー NPO法人配食サー  
ビスなでしこ 黒川久美子・南濃おやじの会久畑眞喜年・NPO法人まち創り 平松  
和夫・浅野かつ代  
【参加者19名、スタッフ5名(累計参加者67名)】

団塊世代塾・多治見市開催 **岐阜県多治見市 まなびパークたじみ 多治見市との共催**

1. 12月10日(日) 団塊世代の地域何着陸の心構え  
岩崎 恭典(四日市大学総合政策学部教授)
2. 12月17日(日) 「好きなまちで仕事を創る」~コミュニティ起業家とは~  
小出 宗昭(SOHOし@しずおかインキュベーションマネージャー)
3. 12月24日(日) セカンドライフを豊かに~資産運用を考えよう~  
中島 幸雄(NPO法人楽しく百歳まで生きる会理事長)
4. 1月8日(月) 団塊世代で安全・安心なまちづくり~災害から市民を守る~  
柄谷 友香(名城大学都市情報学部助教授)
6. 1月21日(日) ) NPO実践座談会「NPO法人と参加者交流」パネラー NPO法人在  
宅支援グループみんなの手 野田幸子・(株)コミュニティタクシー 岩村龍一・愛  
菜くらぶ仲久継・NPO法人鎮守の森 小泉茂明章 コーディネーター:NPO法人ぎ  
ふ  
NPOセンター市来圭  
【参加者42名、スタッフ12名(累計参加者101名)】

団塊サミット in 岐阜 **(第4回団塊世代塾)**

1. 2月18日(日) 「もう一つの人生」踏み出してみませんか(基調講演)  
小林 正美(樹庵社長・第2回全国団塊サミット仕掛け人)  
開催場所: 岐阜県可児市下恵土 可児市文化創造センター
2. 3月3日(土)・3月4日(日) 「定年後の仕事選びいつまでも元気で働く為に」  
開催場所: 愛知県江南市草井 すいとびあ江南

【参加者32名、スタッフ8名（累計参加者54名）】

## (2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

当初の課題として挙げていた 1. 定年退職後の人生設計を模索する方同志の出会いの場になる。...という点は大きな成果があったと思われる。もともと会社勤めなどで、地域に足場がない方の出会いの場だと考えていたが、事実、可児・大垣・多治見とも修了生が継続的に集いあう会ができた。

2. 学びの機会をつくり、参加者同士の交流を深める中で意識向上を図る。という課題に対してはワークショップ形式で参加者同士が話し合う場を多く持ったり、毎回必ず、事後の交流会を呼びかけたりすることで推進できたと思う。コーチングなど最近注目されている分野の講師にも来ていただき深く学ぶことができた。

3. 参加された方の中から地域のNPOに参加されたり、自ら起業して地域活性化に貢献されるような方を輩出してゆく。という課題にたいしては、すでに二つのプロジェクトが発表されていて、仲間が集まりしだい事業をスタートしたいという方がみえる。

『団塊世代』に関しては2007年問題とも相まって、各分野から大きな注目を集めた。マスコミからの取材申し込みも多かった。第三回目の多治見開催では、多治見市との共催となり広報や会場のことでは全面的な支援をいただいた。初日には多治見市長があいさつにみえるほどの熱の入れようであった。多くの自治体にとって団塊世代の方が地域で活躍してもらうことは喫緊の課題であろう。

何よりも4回の講座自体が「団塊世代塾」の修了生の手によって創られた。同世代の方の事務能力の確かさ、すさまじいばかりのパワーと実行力が証明された。「団塊世代塾」は、同世代の方を結び合わせ、何かを生み出すたまごのような役割を持っている。

### (3) 今後の課題

可児と大垣に「団塊世代の会」ができ、多治見には「かがやき世代の会」が修了生の手によってスタートした。それぞれテーマを持って、事業計画を持ったり交流事業を展開している。ただ、すべての参加者が満足いく分野というのは、なかなかないものである。今後は終了後のメンバーがいかに継続して、つながり合えるかということが最大のテーマである。仲間の誰かが、起業しこの指とまれ形式で呼びかけたときに、温かく呼応するような、更なる内容の充実が求められている。

今回、4回に渡って「団塊世代塾」をやってみてわかったことは、団塊世代の方は個々の能力が高く、ネットワーク力もある。ただ、長い会社勤めなどによって、それぞれの地域で「個」のまま分断されている。それだけにいったん結びつきができると、堰を切ったようにものすごい行動力を示す。「団塊世代塾」のような、ターゲットを絞り込み、人と人とを結びつけることを最大目標にした講座は今後も必要であると思う。